

春爛漫の大変過ごしやすい季節を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃からの議会・議員活動にご理解を賜り、ご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて今回の議会便りは、2月定例県議会のご報告をさせていただきます。平成22年度予算案をはじめ、緊急の景気雇用対策を含む補正予算案などを審議致しました。

今回も一般質問の機会をいただき、知事のマニフェストの達成状況や医師不足対策などを中心に質問させていただきました。一部を次ページでご紹介いたします。

また、委員長の突然の辞任により、「少子化・子育て支援対策特別委員会」の委員長に就任し、本会議場で1年間の調査研究の結果概要の委員長報告を行いました。

なお県教育委員の水永正憲氏の辞任に伴い、同じ延岡市より池上武博氏が就任し、教育の向上や教育環境の改善にご尽力いただくことになりました。

さて、私の議員任期も3年を経過し、い



2月議会で一般質問

よいよ残すところ1年となりました。まだまだ微力ではありますが、「志は高く、目線は低く」をモットーに、本県や県北地区の課題解決に真摯に取りくんで参ります。引き続き叱咤激励をいただきますようよろしくお願い致します。

## 2月議会のご報告

議案を審議し、可決いたしました。

平成22年度予算は「**ひかり輝く宮崎の未来へ～県民総力結集予算**」と位置づけ、選択と集中の理念の下、重要施策に積極的に取り組んで参ります。

緊急的な課題の対応として、①雇用の確保と就業支援、②地域医療の再生、③中山間地の活性化。将来的な課題の対応として、①新たな産業の展開、②子育て支援と人材の育成、③低炭素社会の実現。

雇用の確保と就業支援は、37事業105億円を計上し、約2100人の雇用創出を予定しています。また「地域医療再生計画」に基づき、50億円の地域医療再生基金を活用し、医師確保や救急医療機能の強化等の事業を展開して参ります。

2月18日から3月17日までの28日間にわたって行われました。前年比2.6%増の平成22年度一般当初予算5772億6600万円、平成21年度の補正予算等々の

# 2月定例県議会一般質問

## 質問項目

- 1 知事の政治姿勢
- 2 医療・福祉行政
- 3 農林水産行政
- 4 教育行政
- 5 警察行政

### 知事の政治姿勢

**【質問】** 知事のマニフェストの企業誘致100社の達成状況と雇用者数、また知事就任後の県内の倒産の状況について。

**【知事】** 現時点での企業誘致件数は、昭和シェルソーラーの国富工場やセンコービジネスサポートなど69件で、最終雇用予定者は4,256人。このうち、操業を始めた企業は50社で、約1,900人の雇用が発生している。また民間調査会社による負債額1000万円以上の倒産件数は288件で、負債総額1291億6600万円となる。そのうち、建設業は146件、負債総額は563億2800万円となっている。

**【質問】** 企業誘致は重要であるが、これまで県内の雇用の維持創出に貢献してきた地元の企業が疲弊している。地元企業の振興について、どのように考えているのか。

**【知事】** 県内の景気動向に留意しながら、中小企業等に対する資金繰りや新商品・新技術開発の支援、商店街の活性化、県産品の販路拡大等に取り組むほか、高速道路や港湾等の産業基盤の整備促進に努めている。今後は地場企業等が他の産業との連携等により、一層伸びていく環境整備を行う。また本県農産物の付加価値を高める食品産業の振興や、新エネルギー等の成長産業の育成を推進することにより、地場産業の底上げと将来にわたる安定的な雇用の確保を図ってまいりたい。



### 医療福祉行政

**【質問】** 地域医療再生計画の採択により、地域医療対策として各種施策が講じられる。その中にドクターヘリの導入があるが、運行開始までのスケジュールを伺いたい。

**【福祉保健部長】** ドクターヘリは、宮崎大学医学部付属病院が主体となって導入するもので、県は地域医療再生基金を活用して支援する。平成22年度は、宮崎大学が①医師等医療スタッフや消防の救急隊員の研修、②運行マニュアルの整備、③大学内でのヘリポート整備のための調査等に取り組む。また、救命救急センターに配備することが国の補助基準上の条件で、宮大医学部付属病院の救命救急センター化が並行して進められる。今のところ、運行開始は早くも平成23年度末と見込んでいる。

**※ドクターヘリとは、**救急専用の医療機器を装備し、救急医療の専門医・看護師が同乗し、現場から医療機関に搬送する間、救命医療を行う救急専用ヘリコプターです。

**【質問】** 地域医療再生計画は、救急医療体制の強化を柱としているが、県北部圏域についてはどのような事業を計画しているのか。

**【福祉保健部長】** 県北部は、医師不足により救急医療体制が不十分であり、その強化が課題。このため、初期救急や2次救急を担う医療機関

# 宮大医学部「地域枠」合格たった2人 田口県議 制度の一層の周知を

県議会2月定例会は1日、一般質問が始まり、田口雄二議員(民主)延岡市(区)は宮崎大医学部の平成22年度推薦入試で、県内受験生を優先して受け入れる「地域枠」(定員10人)合格者が2人にとどまったことを取り上げた。県内県立高から60人以上が全国の大学医学部医学科に進学している状況を踏まえ、生徒や保護者へ地域枠推薦入試制度の一層の周知を図るよう求めた。

地域枠は将来の本県地域医療を担う人材育成のため18年度に創設され、県の一次選考(小論文など)を通過した24人が受験した。高橋博福祉保健部長は「大変厳しい選考結果。センター試験の結果など大学が求める合格ラインに達する受験生が少なかったと聞いています」と説明した。

学力不足の実態が浮き彫りになった格好だが、田口議員は昨年度、県立高から浪人生を含めて実人数で61人が医学部医学科に進んだことに注目。

県教委に「せっかくなので地域枠。生徒や保護者に地域枠推薦入試制度のより一層の周知を」と要望。

渡辺義人教育長は「高校1、2年生と保護者を対象に、地域枠の趣旨や出願資格などを説明。各校でも3者面談などを通じ、能力適正があつて本県地域医療に貢献する気概がある生徒に受験を勧めている」と理解を求めた。

田口議員はさらに「青森県では高校生に地域医療への理解を深めてもらう取り組みをし、成果を上げています。中学生からこうした取り組みがでないか」と続けた。

渡辺教育長は「宮崎大との連携で3泊4日の科学生とつぼり合宿を行っており、これまで私立を含め県内全域の中、高校生3002人が参加。医療講座では最先端器具の操作体験や外科手術を見学、夜は宿泊先で医師としてのやりがいなどの話を聞いている。今後も本県医療を担う人材の育成に努める」と力を込めた。

の医師確保や施設整備のほか、3次救急を担う県立延岡病院の救命救急センターの充実と、これに伴うヘリポートの整備を計画している。

## 警察行政

**【質問】** 警察庁はすべての相談を文書にして記録し、責任者を明確にし組織的に管理することを決めた。本県の警察相談業務の現状と記録化への対応について。

**【警察本部長】** 過去10年間の受理件数のピークは、平成16年の約2万5千件で、ここ数年は横ばいの状況で、去年は約1万8千件であった。去年の特徴は、ピーク時の約53%占めていた振り込み詐欺に関する相談が、約10%に減少し、家庭内暴力や放置車両等の迷惑行為に関する相談が増加している。対策については、従前から署長を責任者とした上で、全相談を記録化するなど、受理から処理にいたるまで組織的な管理を行ってきた。更に平成16年に「県警察安全相談管理システム」を構築し、より迅速・的確な対応に努めている。

## 延岡南道路が6月から無料化実験

国道10号の土々呂地区の慢性的な渋滞の解消に建設されましたが、有料(250円)のため利用が伸び悩み、渋滞の解消にいたっていませんでした。完成当初から、値下げ、無料化の要望活動を行ってきましたが、開通20年目にして全ての車両が実験とはいえ無料になります。渋滞の解消はもちろんのこと、延岡と細島港間の物流の面からも大きな効果が期待できます。その上、接続する門川～日向間(13.9km)は本年12月に完成予定です。実験結果により無料化が定着するよう、ぜひともご利用下さい。

併せて、東九州自動車道の西都～高鍋間(12.1km)が本年8月完成予定で、なお延岡～宮崎間の全線開通は3年以内の見込みです。

## 肢体不自由児の「療育」が県立延岡病院でスタート

障がいの重い児童が2時間半～3時間もかけて清武町の「こども療育センター」まで通っていましたが、この大きな負担が軽減されることになりました。

県の「障がい児地域療育推進事業」は、県北の利用者の通院等の負担軽減と、地域の療育(障がい児のために行う医療と保育、リハビリなど)機能の向上を図るものです。新規事業として4月から県立延岡病院で出張診療を月1回設けます。この結果、県北の療育センターの利用者200名程ですが、その内、対象となる継続的に経過観察が必要な児童は70名程おり、年2～3回通っている中で、半数程度の延べ約100名分診察できる見込みです。

# 活動フオト

県境議員連盟で  
東九州道の延岡～佐伯間の  
進捗状況の視察  
(2010.2.16)



のぞみ園創立20周年記念式典 祝賀会



県北初の通所授産施設  
「のぞみ園」創立20周年  
記念式典で祝辞を  
(2010.3.13)



あさひの森(日之影町)第4回植樹  
年々参加者が増えて約420名に  
(2010.3.14)

会派視察 鳥取県庁へ  
防災へりと医師確保の調査に  
(2010.3.23)



**県政  
相談**

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。

TEL/FAX : 0982-26-1945 携帯 : 090-5021-7729  
田口雄二 住所 : 延岡市夏田町445-1  
e-mail: gucci.yuji.1203@docomo.ne.jp